

平和教育プログラムについて

1 目的

これまでの平和教育の成果と課題を整理し、児童生徒の発達段階を踏まえた新たな平和教育プログラムを策定することにより、さらに、平和教育の推進を図り、世界恒久平和の実現に向け、自主的・積極的に取り組む児童生徒を育成する。

2 平成23年度までの取組

年度	主な取組
平成22年度	平和教育に関する意識実態調査の実施 ・広島市内の小・中・高校生の平和に関する意識調査による実態把握
平成23年度	平和教育プログラム策定委員会の設置（6月） ・学識経験者、小・中・高等学校長及び教諭等で構成 平和教育プログラムの骨子の策定（7月） 平和教育プログラム（試案）の策定（3月）

3 平成24年度取組

(1) 平和教育プログラム策定委員会の開催

教材開発協力校における実践研究を踏まえ、プログラムの内容や指導方法等の見直し検討を行った。

(2) 教材開発協力校における実践研究

小学校4校、中学校4校、高等学校2校において、平和教育プログラム（試案）を活用した実践研究を行い、その成果等を分析・検証し、指導内容の改善・充実を図った。

(3) 平和教育研修の実施

各学校の平和教育推進担当教員を対象として、教材開発協力校での取組等について実践発表を行うなど、プログラムの内容及び指導方法についての研修を2回実施した。

年月 区分	H24 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H25 1	2	3	4	
策定委員会 (年間5回)			●	プログラムの内容・指導方法の検討					●	●	●		●	平和教育プログラム 全校実施
教材開発協力校 の取組		→ 実践研究												
研修の実施		●						●						

4 平和教育プログラムの主な改善点

- 全体的に教材の量が多すぎたため、一部の読み物教材を参考資料にするなど、改善した。
- 小学校5年生の教材「わたしのカーブ」については、「ひろしま型カリキュラム」中学校1年生の言語・数理運用科の学習と重複するため、水道局の「命の水が通った」に差し替えた。
- ひろしま平和ノート準拠の映像教材（DVD）を作成し、各学校でのICTを活用した授業実施を可能とした。

〔 画像：アオギリ、命の水 など
映像：被爆ピアノ演奏ビデオ、国泰寺中学校制作「時を重ねて」 〕

5 平成25年度の取組

(1) 平和教育プログラムの全校実施

平和教育プログラムを全小・中・高等学校の教育課程に位置付け、プログラムを中心とした平和教育を計画的かつ系統的に実施する。

(2) 教員研修の実施

ア 授業公開

平和教育を推進する担当教員等に対して、実践協力校による平和教育プログラムを活用した授業公開を実施

時期：5月から11月頃まで

実践協力校（7校）

基町小学校、狩小川小学校、船越小学校、矢野南小学校

大塚中学校、美鈴が丘中学校

舟入高等学校

イ 実践発表

平和教育を推進する担当教員等に対して、校種ごとに実践発表及び意見交流を実施

時期：11月から12月頃まで

ウ 校内研修

各校からの要請により校内研修において指導・助言